

矢板金具施工要領書



株式会社 北斗金属工業

製品概要

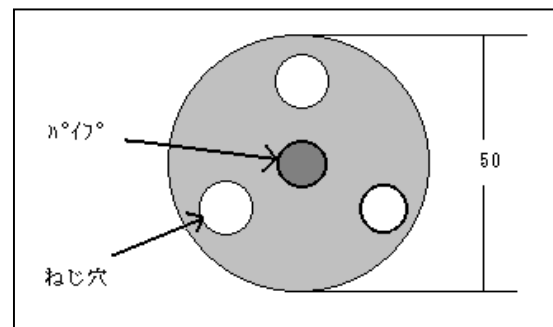
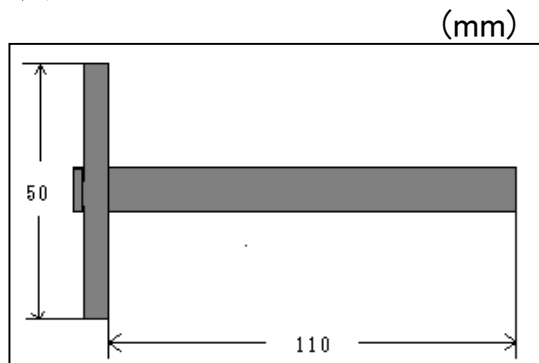
1: 製品名

矢板金具

2: 製造元

株式会社 北斗金属工業

3: 製品寸法



※ショートタイプはパイプ長が63mm

4: 特長

- ① 施工が容易である
- ② 500kgfの製品保証強度
※矢板の水湿や腐食は除く
- ③ アングル溶接の必要がない
- ④ H鋼のピッチが広い場合もスクリュービットと併用することで
はらみを抑えることが可能

5: 施工実績

別紙施工実績表参照



施工手順

1: 施工前条件

- ① 墨出の実施
- ② 足場の設置
- ③ 配筋前の手配
- ④ 仮置き資材等が無く職人の移動がスムーズに行くこと
以上の条件をクリアした状態で1日500～600本の施工が可能

2: 施工に必要な機具

- ① インパクトレンチ
専用ビスを打ち込む機械
- ② ソケット 10 (変換用のシャンクアダプター使用)
インパクトレンチに取り付けて専用ビスを回転させる工具(消耗品)
コードレスインパクト用のソケットを使用する為、変換アダプターが必要

3: 施工手順



- ① 墨出し個所に矢板金具を当て、インパクトレンチで専用ビスをねじ込む。



- ② 三箇所専用ビスを打ち込んで施工完了。

※ 取り付けの際は下記の点に注意すること

- ① 専用ビスが3箇所打ち込まれているか確認する
- ② 矢板の継ぎ目には専用ビスを打ち込まないこと(上下にずらす)
- ③ 矢板が水湿や腐食している箇所は避ける

4: 作業効率が落ちる場合

- ① ローリングタワーで施工を行う場合
(乗降して移動させるため)
- ② 他業種との相番作業の場合
(鉄筋業者、圧接業者または溶接業者との相番作業はお互いの業務に支障を来すため)
- ③ 高所作業車使用時、資材や機材等が移動を妨げる場合

5: 施工が行えない場合

- ① 墨出が実施されていない場合
- ② 配筋されている場合(専用ビスを取り付けることができなくなるため)
- ③ 高所作業において、足場手段の手配が行われていない場合
- ④ 降雨量が多い場合(小雨程度なら施工は可能)
- ⑤ ベニヤ板等の薄い板に取り付ける場合

6: 作業中に予想される危険

- ① インパクトレンチ回転部に衣服等が巻き込まれる
- ② 高所からの転落
- ③ 脚立の転倒

7: 予想される危険に対する対応

- ① インパクトレンチの回転部分に手を近づけないようにする
- ② 高所作業時には安全帯を使用する
- ③ 脚立の適正使用を徹底する